

競輪草創期のレース用自転車 「エバレストデラックス」 （1950年前後）



昭和23年11月20日、九州小倉で競輪の歴史が始まりました。この日は10レースが行われましたが、そのうちの3レースは土屋製作所のエバレスト自転車に乗った選手が優勝しました。土屋製作所は戦前からレース用自転車を作っていましたが、競輪開始当時は戦後間もないときでレース用部品は皆無に等しく、土屋製作所をはじめいずれの自転車メーカーも部品調達には大変苦労しました。

この自転車の車体はカーボンなどの軽量素材ではなく鉄で造られているため重く、軽量化として車輪枠に木が使われています。また現在の競輪ではブレーキのない自転車を使用していますが、この自転車にはサドルの後ろにブレーキがあり、お尻を後方に移動させてブレーキをかけます。

自転車文化センター 谷田貝一男